

作り易い草花

大 岩 金

彼岸前後は種子蒔、移植、挿木など一年中でも最も多忙な時期であります。

種子蒔に就て申しますれば秋の彼岸前後に蒔き得なかつたものはなるべく早くこの際下種しなればなりません。即ちきんぎよさう、矢車草、むしとりなでしこ、その他色々ありますが、是に就きましては曾て表示して居りますから略しておきます。又春蒔に致しますものも少しはあげたつもりで居りますから、今回はそのうちの二つに就ての栽培法を申し述べます。

一、きんれんくわ

このきんれんくわは以下に擧げますやうな點で

幼稚園でも家庭でも幼児自からが手を下して播種から採種に至るまで引きつゞき世話が出来ますし伸びた葉や咲いた花などは觀察に或はその他の材料に役立てられるものではないかと思ひます。

- 1、種子の大きなこと
- 2、發芽歩合の大なること
- 3、發芽の割合に早いこと
- 4、成長の早いこと
- 5、移植に堪へること
- 6、枝葉のよく繁茂すること
- 7、開花期間の長いこと
- 8、挿木でよくつくこと

9、種子のとり易いこと

10、葉にたまつた露のきれいなこと

以上思ひ浮びましたまゝを書きつらねましたが是は大體栽培方面からみた點ばかりで、他に色々異なるつた見方によりまして擧げるべき諸點のある事と思ひますが、それ等に關しては私がとやかく申す限りでありませんから、この位にしておきませう。

栽培法

1、播種

三月末から四月にかけての候に播種すればよいのであります。そして鉢蒔にしましても床蒔にしましてもよろしいのであります。そのいづれに致しましても、大粒の方の種子、即ち大きなものですと大豆大、小さいものでも小豆位にはあります（豆のやうに表面が平滑ではありませんが）からは一般の種子のやうに澤山をもつて撒播に致

しますよりも、一粒づゝ縦横に一寸位の距離をおいて竝べてゆく方が小さい方々にも蒔き易いかと思ひます。又蒔きました上に覆土致しますにも篩でふりかけないで、満面に種子が竝べられまじならば次に端から種子の直徑の二―三倍の深さに指で種子を土中に押し込んでゆき、最後にこの穴を周りの土で埋めておくのであります。今一つの方法は豫め種子の三―四倍の穴を指又は棒であけておいて、この中に一粒づゝ入れ、然る後穴を埋めてもよいのであります。それから充分に灌水しておきます。

播種して一週間もたちますと、丈夫なよい種子から順々に殆ど残りなく、地上にかはいらしい二葉を出し、やがて芝も伸び、本葉も出て來るのであります。かやうによく發芽するといふ事は、播きました者にとりましては、誰しも感ずる先づ最初の喜びであります。まして幼い子供達にとり

ましては尙一段の喜びであらうと思ひます。

2、移植

本葉が二三枚も出ましたならば、次には是を移植するのであります。鉢作りに致します時には五寸鉢に一本づつ、露地作りですとその矮性種と蔓性種とにより五六寸——一尺五寸位の距離に植え込むのであります。

丈夫でありますから土質に對する好悪はさほどありませんで、よくどんな所にも成長致しますが日當りはよい所に植えたいのであります。日蔭に育つたものは枝葉のみ徒長致しまして花つきがよくありません。

3、移植後の手入れ

本植えましたならば、時々油粕の腐汁のやうなものをやりますと、ずん／＼枝葉が茂つて參りまして、その葉腋から黄又は橙黄色の美しい花が長い花梗の先に長い距をつけてみづ／＼しい楕狀

の葉間に咲き出るのであります。そして是は霜には弱い方ではありますが、暑さにはなか／＼丈夫でありますして、夏でも特別の炎天でなければ平氣で生ひ茂つて居ります。それ故夏の朝など庭を消遙致します時、このうひ／＼しい葉が一面に茂り合つて、その上に銀のやうな露をのせてゐるのなどは、只に花なくとも葉丈でも充分に觀賞する價値があると思ひます。六月頃から咲き初めました花は以後引續き、十月末頃までは露地で眺められます。

4、挿木の仕方

枝葉が伸びすぎた場合、又は不用な部分は是を切り更に二三節毎に枝を切つて、下部は節の所を斜めに切り、水なり砂又は砂と土とを等量に交ぜた中に挿しておきます時は、その切口から白い根をよく出しまして、容易に一本のきんれんくわとなるのであります。又秋の末になりまして露地で

はもはや枯れるといふ時になりますと、是を前同様の方法で挿し、温室内に入れておきますならば早春から花を見る事が出来ます。

又鉢植のものですと根本から三四節を残して切り去り、同じく温室内に入れます時は、又新しく枝葉が伸びて越冬させる事も出来ます。

5、採種

開花期間が長いと申しましたけれども、是は一つの花がそんなに長く咲きつゞけるのではなく、次から次へと咲き變つてゆくのでありますから、始めて咲いた分は種子になつて參ります。一花がたいてい三粒の種子になり、その始めは緑色をして居りますが、次第に黄變し終には黄褐色になります、自然に種子は花軸から離れて地に落ち時には、そこで發芽する事さへありますから、採種致しますには、まだ少しは緑色を呈して居ても指先でふれてみて、すぐ離れ落ちるやうでしたなら

ば、もう充分に熟して居るのでありますから、直ちにとり、之を日蔭干にして次の播種期まで保存しておきます。かく花期の長い花は一時に採種は出来難いものでありますから、折々見廻りましてその適期／＼に採種すべきであります。このやうに一方に開花の状態にあるものもあれば、既に結實したのもあるといふ事は、花壇としてはあまり面白い事ではありませんが、けれども見方を轉じて、この花に依つて種々なる觀察や遊びをすると致しますれば、却つてこの方が好都合ではありますまいか。

6、種類

原産は南米でありまして、この屬に入るものは四十五種程ありますが、普通に栽培されて居りますのは、二三種に限られて居ります。即ち蔓性種と矮性種であります。

蔓性種は花壇植にも、鉢植にしても、懸崖作り

にして垂下させましてもよろしうございますが、是は垣根仕立に致します時は、夏の眺めに誠に氣持のよいものであります。

矮性種は花壇にも鉢にもよろしく、出來のよいものは花付が多く、花の冠を冠むつたやうになりまして誠に美事であります。又葉に斑の入つたものや、花色にも鮮紅色、紫紅色、紅色などのものもあります。

二、スキートアリツサム

花の香のよい所からスキートの名がつけられて居ります。このスキートアリツサムも栽培法が極めて容易であり、色々の點に於て前のきんれんくわに似て居りますから、なるべく重複をさけて申し上げませう。

栽培法

1、播種

種子は前者に比べて、ずつと小さいのでありま

すから、一般の種子の播き法により、鉢なり床なりに撒播にすればよろしく、それも一度播きつけておきますれば、翌年からは殊更播かなくても自然に落ちた種子でその邊一ぱいに發芽してくる位なものであります。

2、移植

性質が極めて丈夫でありますから、小さい時でも少々大きくなつて居りましても、容易に活着致します。移植後少し面倒をみてやりますならば、相當に大きくなつて、花が咲いて居るやうなものでも尙よく移植に堪へます。

3、移植後の手入

きんれんくわの如く時々油粕などの腐汁を與へてやりますれば長い開花期間中勢力旺盛で株張りよく茂つて居ります。

又あまり枝葉が地に接近して、こみ合つて居ります爲、自然その下が害虫の潜伏所となり易く、

夜盗蟲や根切蟲などに時折害される事もありますが、
から、注意して一部に被害がみえましたならば、
その邊りを掘つてみて、驅除しなければなりません。
又かたつむり、たまひしなどよく集まつて居
るのを見受けますが、それ等の害については確た
る經驗はありませんが、やはり是等もとり除いた
にこした事はないと思ひます。

4、花

眞白の十字科の小さい花で、それが一面につき
ますので、よく出来ました株は一株でも方一尺以
上に擴がり、これが花一ばいで覆はれました、美
觀は雪かたまがふばかりであります。咲き方は下
の方の枝の葉腋から出たものから始めて順次上へ
くと咲きつゞいてゆくのであります、四月頃
からよく十一月の降霜時まで咲きつゞけ、極暑の
候には幾分花付きが悪しく、勢力が衰へて參りま
すけれども、又秋になりますと恢復しまして、長

く他の花の次第に少なくなり、時でも尙よく
咲きほこつて居ります。

5、採種

小さい種子で且つ多量に出来ずものを、いち
く一粒宛採つてゆきます事は、到底不可能であ
りますから、是は大體花の終りました頃、靜かに
株を刈りとりまして、新聞紙上等の上に振り落す
のであります。又開花期中に種子の出来た枝の
交じつて居ります時は、外觀もよくありませんか
ら、その部分は缺で切りとり、是を前の如く紙上
に振り落してもよいのであります。

6、用途

丈の低いこと、花付きのよいこと、株張りのよ
いことなどの點から是は花壇の縁取りをして結構
なものであります。芝の様に永年草ではありませ
んが相當に長くもちますし、それに經濟上からも
手數から申しまして容易であります。又花が眞

んけいぎく、萬壽ぎくなど種々ありますが、此の度はこれで筆をとめておきます。

白でありますため他の色の花との配合もよろしく花の少ない時には、大部分をこのスキートアリスサムで埋めておき、所々を他の花で植え込みます時は立派な毛氈花壇も出来ます。又踏みつけない所ならば芝代用に白い芝生も出来ます。

この外一本宛を鉢作りに致しましても充分に眺められます。

又小供達が切りとつて遊びましても、又後からくくと新しい枝が出て參りますから、淋しくなる心配ありません。冬にも引つゞいて咲かせますには、フレイムか温室にとり入れ、ばよいのであります。尙早春に開花して居りますのは、秋蒔にして是を冬の間簡単な霜除をして越冬させたものもあります。

以上の外春蒔で、作り易い草花を挙げますならば、コスモス、百日草、千日紅、ほうせんくわ、まつばぼたん、おしろいばな、はるしやぎく、さ

(七一頁ある日のつゞき)

枯木を二三本立て、適當に綿をかぶせ、小屋は茶ボールで作つて御屋根や、窓にも綿をのせました。そして日本アルプスの様な背景を書き、大體スキート場が出来上りました。人はキビガラで作つてヒゴの先にキビガラを小さく輪切りにしてさしたかぢを持たせました。同じくキビガラを少し平にして先を斜にそいだスキーを兩足にはかせました。めいめいのスキーターが出来上りますと大喜びですべらせて居ました。

(たか子記)

——口繪參照——